

情報通

2020. December 12月号

発行：東京税理士会 情報システム部
 題字：神津 信一（四谷）
 （税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。）

マウスを使うな× ~でも使っちゃうよね~

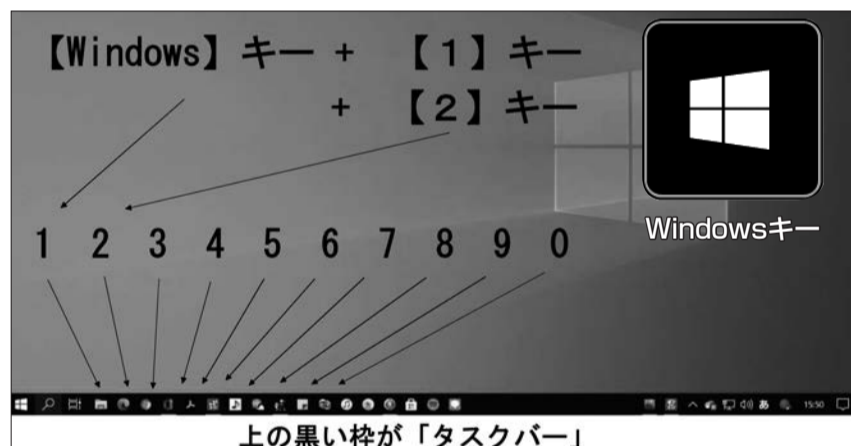
情報システム部委員 石橋 一

スマホは指で動かすもの、パソコンはマウスで動かすもの。しかし、パソコンのキーだけでも可能な操作があるとのこと。それは『ショートカットキー』と呼ばれ、パソコンの作業効率が大幅にアップするのです。今回改めてショートカットキーについて調べてみました。簡単なお知らせからご紹介できればと思います。是非、下記内容をお読みいただきながら、パソコンを立ち上げていただき、一緒に操作を試みてください。皆様のお仕事のお役に立てれば光栄です。

1. まずWindowsキーと組み合わせて使用する機能のご紹介です

① 【Windowsキー+1~0】 アプリ立ち上げ

今、何かしらのアプリで仕事をしているとします、しかし違うアプリも立ち上げたい。その時、どうされていますか？立ち上げたいアプリ、デスクトップにあるはずのアイコンをクリックしたいのに、今使っているアプリが画面いっぱい邪魔だと思われた事はありませんか？その時に、今回ご紹介する『ショートカットキー』を使ってみてください。キーボードの左下にあるWindowsマークのキー（以下、**Win**とする）と一緒に、キーボードの左上にある数字の**1**を押してみてください。マウスを触っていないのにアプリが立ち上がります。どのアプリが立ち上がったでしょうか。それは、皆さんがパソコンをシャットダウンする時に、いつもマウスのカーソルを持ってくる、あの画面の一番左下のWindowsのアイコン、その右隣3つ目くらいに表示されているアイコンのアプリが立ち上がったのです（※ 配列は利用する方の端末により異なります）。さらに、そのアイコンの右隣のアプリを立ち上げたい場合は**Win**+**2**です。この画面一番下にある黒く横長い枠は『タスクバー』と呼ばれています。もし、そのタスクバーにアイコンが並んでいなければ、デスクトップ画面上の、いつも立ち上げるアプリのアイコン上で右クリックをしてみてください。出てきたメニューの真ん中あたりの「タスクバーにピン留めする」を左クリックすると、タスクバーにアプリのアイコンが現れます。また、そのアイコンにカーソルを合わせ、左クリックしながら左の方へ持っていけば配列位置を移動させることができます。



② 【Alt+Tab】 使用中のアプリの切り替え

上記の様に複数のアプリが立ち上がっているが、先ほど使っていたアプリに戻りたい時、どうされていますか？是非**Alt**と**Tab**を押してみてください。今立ち上がっている全てのアプリが現れます。そのまま**Tab**を押すと、押すたびに選択肢が移動し、作業したいアプリに枠が移ったら指を離します。すると、作業したいアプリが全画面に現れます。これは、**Win**との組み合わせではありませんが、便利な機能です。

③ 【Win+←又は→】 ウィンドウを左半分・右半分に合わせる

人は欲張りなものです。上記のアプリを両方一緒に見たい。とても効率的です。**Win**とキーボードの右側にある**←**を押してみてください。今使っているアプリが左半分に移動します。さらに、立ち上がっている他のアプリが右半分に現れます。ここでマウスに触れてはいけません。上記の新技**Alt+Tab**で操作してみてください。また、矢印繋がり**Win**+**↑**や**↓**も気になることでしょう。是非チャレンジしてみてください。

④ 【Shift+Win+←又は→又は↑又は↓】 マルチディスプレイ間でウィンドウを動かす

先程は、ひとつの画面を左右に分けて2つのアプリを表示させました。では、最初からモニターが2つあったら楽だと思いませんか？そうなのです、楽なのです。しかも、かっこいい。横2つに並べても良いですが、1つのモニターを縦にしても使いやすいです。この2つ以上の画面を使うことは『マルチディスプレイ』と呼ばれています。上記③のショートカットキーに**Shift**を加えて操作してみてください。

⑤ 【Win+Ctrl+D】 仮想デスクトップを追加する

⑥ 【Win+Ctrl+F4】 仮想デスクトップを閉じる

⑦ 【Win+Ctrl+←又は→】 仮想デスクトップ間の移動

さて、ここまでの流れでモニターが1つの方も複数の方も数個のアプリが画面いっぱい立ち上がっています。こんな時に、何か別の作業を

したい。新しいアプリを立ち上げたいが、今の画面の並び方を変えたくない。まっさらなデスクトップの画面が欲しい時、『仮想デスクトップ』という機能があります。**Win**+**Ctrl**+**D**でパソコンを立ち上げた時の画面と同じになります。元に戻すには**Win**+**Ctrl**+**F4**です。**F4**はFと4を押すのではなく、キーボード上、一番上の列に並んでいるキーの左から5番目の**F4**のことです。

⑧ 【Win+L】 パソコンをロック

では、ここで一旦休憩しましょう。他の人に画面を見られないようにパソコンをロックしてみましょう。

2. 次にCtrlキーと組み合わせて使用する機能のご紹介です。

下記4つは、『コピー&ペースト』と呼ばれ、とても便利です。

① 【Ctrl+C】 選択範囲をコピー

② 【Ctrl+X】 選択範囲を切り取り

③ 【Ctrl+V】 選択範囲を貼り付け

④ 【Shift+→又は↓】 選択範囲の決定

そして他にも便利なものがあります。

・【Ctrl+P】 印刷

・【Ctrl+A】 すべて選択

・【Ctrl+F】 文字列の検索

・【Ctrl+W】 ファイルを閉じる

・【Ctrl+N】 今使っているアプリの新規ファイルを開く

・【Ctrl+S】 上書き保存、新規作成したファイルは「名前をつけて保存」

・【F1】 ヘルプを開く

3. 終わりに

【Alt+F4】 シャットダウン又はアプリの終了

最後にパソコンを終了させましょう。**(Fn)+Alt+F4**で電源を落とします。画面左下のWindowsのアイコンを右クリックして行ういつものシャットダウンと同じ効果です。このシャットダウンは、次回の起動時に高速で起動できるように、完全に電源を落とさず、一部のシステム情報を保持し、周辺機器などに通電した状態のままシャットダウンされるというWindows8.1から加わった機能だそうです。なお、アプリが起動している場合の**Alt+F4**は起動中のアプリを終了させる機能となります。

では、パソコンの電源を完全にシャットダウンさせるにはどうしたら良いのでしょうか？まず、マウスのカーソルをいちばん左下のWindowsのアイコンまで移動させ、右クリックではなく左クリックし、ひとつ上にあるリンゴのようなマークにカーソルを当てると「電源」の文字が現れます。その「電源」をクリックすると現れる「シャットダウン」を選択することで完全シャットダウンが行われます。アプリやドライバのインストール、メモリや周辺機器などに変更がある場合は、完全シャットダウンを行った方が良いでしょう。

いかがでしたか？基本的なもののばかりのご紹介となってしまったでしょうか。私にとっては目新しいことばかりでしたので、お仲間がいらっしゃれば嬉しいかぎりです。しかし、これは覚えなければ使い物になりません。紙の付箋にでも書いてモニターの脇にペタッと貼っておきましょうか…と思ったら、Windows10には『付箋アプリ』が入っているとのこと。左下のスタートメニューを左クリックして現れる「プログラム一覧（左図）」の「S」行の【Sticky Notes】又は「は」行の【付箋】をクリックすれば、付箋アプリが起動されます。このアプリに今回のショートカットキーの種類をメモしておいてはいかがでしょうか？

上記以外にも沢山のショートカットキーがあります。興味のある方は、検索サイトやYouTubeなどで調べただけなら幸いです。それでは、今日も良いパソコンライフをお過ごしください。

